

駒ヶ岳火山災害のミニ用語辞典

- **水蒸気爆発**・・・新しいマグマの噴出がなく、古い岩体と水蒸気とが爆発的に噴出される噴火の形態をいう。大規模なものは山体の崩壊などをともなう。ここでの水蒸気は、ほとんどの場合、新しいマグマに由来するものでなく、地下水・地表水などが火山体下部の熱源により熱せられて発生するものといわれる。
- **火山性微動**・・・火山地域で、火山活動に起因するとみられる振動(火山性地震以外の)が観測されることがある。このような振動を火山性微動という。微動の成因やその発生メカニズムに関しては多様なモデルがある。その主なものに、
 - 1、火山性地震が連続して発生するような場合
 - 2、噴火時に火山灰などの噴出活動と連動して発生する場合
 - 3、火山体内におけるマグマや火山ガスの運動や移動にともなう場合
 - 4、マグマや火山ガスと地下水の相互作用による場合
 などが考えられている。したがって成因的には火山性微動は火山性地震よりさらに噴火活動に密接な関係がある。
- **火山性地震**・・・火山体の内部または火山地域で発生する震源の浅い地震を、火山地域以外で発生する通常の地震と区別し、火山性地震という。
 - 火山体・・・一般には単なる火山という
 - 火山活動・・・マグマが地表に現れる過程、または現れてからのさまざまな動き、それにともなう現象を総称して火山活動という。
- **火砕流**
火山から噴出された高温の火山灰・軽石・岩片・火山ガスなどが、斜面を急速に流下する現象。温度は数百℃に達する。軽石流あるいは熱雲と呼ぶことがある。
- **火砕サージ**
火砕流本体から分かれた軽石・岩片が少なく、高速で高温の砂嵐のような現象。
- **火山泥流・土石流**
土砂・岩塊などが、水と混ざりあって、高速で谷を流れ下る現象。谷の出口では氾濫を起こす。一般には大雨の時に発生するが、火山噴火で火山灰が積もったときには、多少の雨でも発生する。これを火山泥流と呼ぶ。また、冠雪期には、噴火によって雪が一気に溶けて、泥流が発生することもある。これを融雪泥流と呼ぶ。
- **火山灰**
火口から放出される細粒の噴出物で、直径2mm以下のもの。噴火時の風向きにより降下域は異なる。
- **軽石**
火口から放出される多孔質の噴出物

- **岩屑なだれ**
火山噴火や地震動によって、山体斜面が大規模に崩落する現象。駒ヶ岳では、寛永17年(1640年)の噴火によって発生し、崩落した土砂・岩塊は海にまで達し、津波が発生して、内浦湾沿岸で700人余りが溺死した。
- **噴煙**
火山ガス・火山灰・軽石などが火口から噴出し生ずる煙。噴火の際には火口の上空に「噴煙柱」が形成される。
- **噴気**
火口や山腹の割れ目から立ち上がる火山ガスや水蒸気など。水蒸気が水滴となって白い煙のように見えることが多い。
- **空振**
火山の爆発で起こる空気の震動。空振によって窓ガラスが破損することもある。
- **マグマ**
地下に存在する岩石が溶けたもの。高温。これが、地表に現れたものを溶岩と呼ぶ。
- **溶岩**
マグマが地表に現れたもの。冷えて固まったものも溶岩と呼ぶ。溶岩の粘性(粘り気)が大きい場合には流れ出ないで溶岩ドームを形成する。逆に粘性が小さい場合には溶岩流が生ずる。
- **溶岩ドーム**
粘性の大きい溶岩が噴火口上に盛り上がりドーム状の山体を形成したもの。駒ヶ岳では安政3年(1856年)の噴火で小型の溶岩ドームが形成されたが、その後の噴火で破壊された。

●異常現象はすぐ役場・警察へ通報を!

いざという時に備えて、一人暮らしのお年寄りや介護が必要な方は、日頃から近所のだれかに事前に援助を求めて置くことが必要です。そのためには、町内会活動への参加、ホームヘルパーへの相談など日頃から心掛けてください。

備えあれば憂いなし

●自分の身は自分で守る。

地域ぐるみで万全な防災力を!

一人暮らしのお年寄りや老人夫婦だけの世帯では、災害が発生した場合、家族の看護や援助を受けることが困難であると考えられます。また、寝たきり老人や痴呆性老人、重度の障害者を抱える家庭においても、いざというとき、的確な対応に限界がある場合も考えられます。日頃から近所の連帯が必要です。

登校・下校の時

噴火や地震はいつ起きるかわかりません。幼稚園や学校では、行き帰りの道で噴火やゆれを感じたら、カバンや上着などで頭を守りながら、近くの民家へ避難させていただくよう指導されておりますので、ご協力をお願いします。

町内会別の指定避難施設

町では、防災ハンドブックで一般避難所を皆様にお知らせしておりますが、駒ヶ岳火山噴火の場合は特殊災害となりますので、当分の間は次のとおり町内会等別の避難施設を指定致しますので、ご協力をお願い致します。

この5カ所の指定に当たっては、噴火における地震・津波の発生も予想されること。更には町外へ避難する場合に住民が一定の地区に集まっていることで、避難者の把握はもちろんのこと自衛隊等の協力のもとに行われる移動についても容易となることを想定し海岸線に近い集会所や老朽化してきている施設を除いて指定しております。

- ① 渡島リハビリ体育館・・・大岩第1区町内会から鹿部第4町内会まで
- ② 小学校・・・・・・・・鹿部第5区町内会から宮浜第15区A・B・C町内会まで
- ③ 公民館・・・・・・・・宮浜第16区町内会から宮浜第17区A・B町内会まで
- ④ 中学校・・・・・・・・宮浜第18町内会から宮浜第19区A・B・C町内会まで
- ⑤ 総合体育館・・・・・・・・本別、出来潤、大和ハウス分譲地、相泊、駒見の全域

避難

1 避難順位

避難をさせる場合は、老人、幼児、傷病者、身障者を優先的に避難させましょう。

2 避難方法

※噴火の状態に変更もありますのでお含みください。避難には、三つの方法がありますが、町災害対策本部長が、噴火の規模、避難開始の時期、交通状況等を考慮し、状況に応じて避難方法を指示します。

- ① 徒歩などにより、住民が自力で、避難場所まで避難する方法。←『自力避難』
- ② 残留地域住民、負傷した人たちを危険区域から救出し、避難場所まで避難する方法。←『救出避難』
- ③ 避難場所または臨時集合場所に集合した人を、災害対策輸送車両で集団的により安全な避難場所へ避難させる方法。←『集団避難』

防災ハンドブック

HOKKAIDOU-KOMAGATAKE 一番目につく所に置くか、掛けて保存しておきましょう。

駒ヶ岳



もう一度見直そう駒ヶ岳!!

駒ヶ岳が昭和4年の噴火に類似した火山活動をしております。「備えあれば憂い無し」です。今一度身の回りの点検と、この防災ハンドブックを必ずお読み下さい。

鹿部町

火山情報は、町防災行政無線をお聞きください。

火山性地震や火山性微動に関する情報、更には、避難命令・避難勧告(指示)は、防災無線でお知らせしますので、うわさなどに、まどわされることのないようにしてください。(防災無線は状況により夜半でも放送します。)



噴火に備えた日頃の準備が大切です。

●みなさんの避難について

避難する場合のみなさんの心得

- 1 戸締りに十分注意する。
- 2 火の元に注意し、ガスの元栓を閉め、火災が発生しないようにする。
- 3 携帯品は、限られた必要なものだけとする。
- 4 服装は軽装で、頭巾・ヘルメットなどを着用し、防じん眼鏡・マスク・防寒用具などを携行する。
- 5 行動は誘導者の指示に従い、うわさによる軽はずみな行動はやめよう。



避難するときはこんな格好で!!



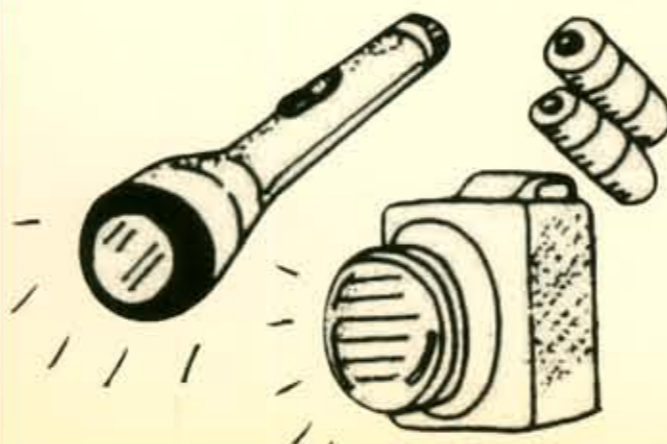
追加1 赤ちゃんがいる場合



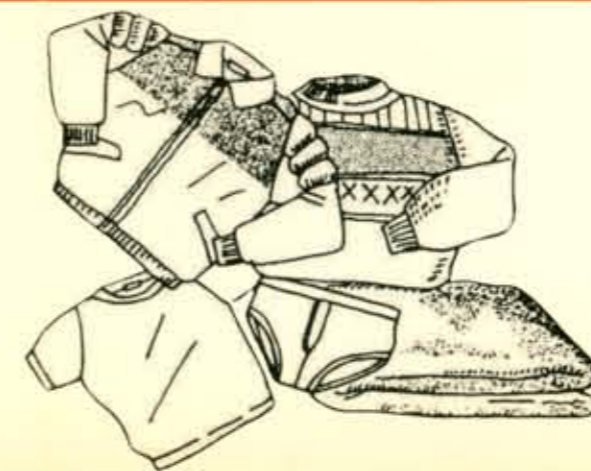
追加2 お年寄りがいる場合



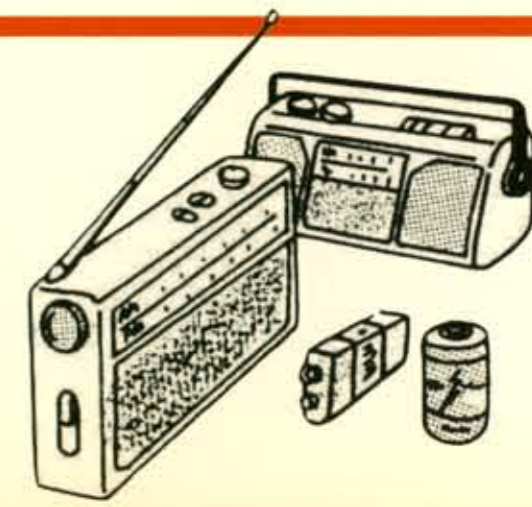
追加3 あれば便利なもの



●懐中電灯(予備電池も)



●衣類(セーター、ジャンパー類(夏でも必要)、下着1組、毛布など)



●携帯ラジオ(予備電池も忘れずに)



●貴重品類(印鑑、預金通帳、株券、現金など)

非常持出品の基本です。

- あまり欲ばると安全な避難に支障をきたすので荷物は最小限に。
- 男性の場合で最大15kg、女性で10kg程度がひとつの目安です。



●食料品・飲料水(乾パン、缶づめ、ビスケット、チョコレート、チーズ、携帯飲料水など)



●応急医薬品(目薬、傷薬、胃腸薬、脱脂綿、絆創膏、包帯、生理用品、クレオソート丸、抗生物質など)



●その他(マッチやライターなどの発火用具、ローソク、十徳ナイフ、ビニールシート、コップ、缶切り、大小のポリ袋など)